

あいらニュータウン

向こう三軒両隣、気配り助け合い



くすみん

第28号 令和6年9月15日

発行 西始良校区コミュニティ協議会
始良市西始良一丁目22-3 TEL 0995-73-8415
発行人 会長 前田昇一

暑かった・熱かった、2024始良ニュータウン夏祭り!!



子どもたちが健やかに、たくましく成長しますように!

今年の夏祭りから、もう一月半も経ったのですね! 祭りの責任者の私は未だに、あの賑やかさの興奮の中にいるようです。皆さん、本当にご協力有難うございました。久しぶりに全く天気の心配をしないで、準備から後始末まで完結できた夏祭りでした。

高齢化と酷暑の現実の中「人手」を克服するため、竹下組さん・始良電設さん・ワースプランニングさん・リフォームの元さん始め、沢山の地元のプロの皆さんに全面的に支えていただいて、完璧な準備が出来ました。

蒲生郷「太鼓坊主」の進化した演目から、子どもたちの様々なダンス演技、しつとりとした日舞、70〜80歳代の若者?を半世紀前に引き戻す「ベンチヤーズサウンド」等、プログラムも多彩で大変楽しめましたね! 西始良サポーターズの大人数・子ども神輿も力と勇気を与えてくれました。出店の皆さんも趣向を凝らし、夏祭りを盛り上げる品々を提供して頂きました。

「隣は何をする人ぞ」と希薄な人間関係の進みつつある現在、これだけの「手作りイベント」を創り上げられる「西始良住民としての繋がり」は、自己評価に及第点を付けても良いのではないのでしょうか。参加者も運営に携わった皆さんも、「面白かったね! 楽しかったね!」で終わって万々歳です。

次の地域づくり部の企画行事は「秋の大運動会」です。夏祭りに引き続き、今年こそは天気を心配しないで楽しみたいものです。改めて、皆さま方のご支援・ご協力宜しく願います。

(文責・地域づくり部長 清水裕二)



子どもみこし・ニュータウンの子どもたちが元気にかついだぞ〜



堂々と、大人みこし!!



七夕かざりと灯ろう



祭りの始まり! 蒲生てこ坊主



かわいい! ひまわりの子どもたち!



真夏の火輪咲く



にぎわう出店!!



東・重富空手 いつもリリしく!



軽やかな体操姿!!



北・カラーガード見守り隊



西・ダンスで世界へ!!



南・あでやかな日本舞踊



南・ダンスが大好き!!



西始良小・西始良ローラン



昭和の風が吹きまくる!!



ひまわり子ども園見学：0歳児から4・5歳児まで職員に見守られて子どもの主体性を大事に保育



多くの体験活動を取り入れ、子どもたちがのびのびと活動

最後に「ひまわりこども園」です。入り口のベランダでは丁度「プール遊び」の真っ最中でした。大型のプールにみんなでワイワイ・ガヤガヤ。子どもたちはみんな水遊びが好きですね。市内一円から集まる良い子たちが70名近く居ります。子供用の小さな椅子・トイレに参加者全員「かわいい〜」の連発。遊具・絵本の種類と数量の多さにも感心させられました。山王園長のお話では、園児自身の「自分でやりたい」を大切に、遊具も自分たちで創って遊ぶという創造的遊び空間の設定等もあり、大変感心させられました。五歳児さんが、秋の運動会の種目にテレビで見るオリンピックで自分なりにやってみたいと触発された種目を、先生とディスカッションしながら取り入れようとしている様子に、時事を捉えての学習にすごいなと思いました。

施設見学を終わっての意見交換会。参加者が高齢者ですのでほとんどが「グループホーム西始良ほほえみ」に関してのことでした。



- ・3施設の交流が出来て高齢者にも園児・児童にも大変良い。
- ・お酒も飲めるのもいい。本人嗜好の飲食物は他との関係で自室で摂ってもらう。
- ・入院等で施設を離れても少なくとも1カ月は帰還可能室にしておく。
- ・今も待機者が13名居られる。すぐに入れるわけではないので、申し込みは早めにしておいて、待機者にしておくことが良い。他の施設も同様。

3施設共に利用者と職員の和気あいあいとした雰囲気、参加者一同あったかい気持ちで研修を修了できました。建昌福祉会3施設の皆さん、大変ありがとうございました。

建昌福祉会（介護関連施設・児童施設・障がい者施設等）どのような問い合わせでも構いません。グループホームほほえみ・久保施設長まで問い合わせ下さい。☎0995-73-7855

（文責；副会長 濱田健一）

建昌福祉会「グループホーム西始良ほほえみ」等の研修視察報告

今年度の西始良コミュニティ協議会福祉部会の研修会は、校区内にありながら知っているようで知らない、建昌福祉会3施設（グループホーム西始良ほほえみ・ひまわりこども園・児童クラブにしあい）の視察・意見交換会として、8月6日(火)に12名が参加して実施された。

まずは「グループホーム西始良ほほえみ」の久保施設長が施設の案内と簡単な説明をして下さった。大変清潔な環境の中、2つのユニットに90歳から104歳まで18名の高齢者が仲良く共同生活しておられた。それぞれ個室をお持ちで、自分の空間とパブリックスペースの併用で、自分の時間・仲間との食事や作業等の時間をうまく組み合わせた一日の生活である。ほほえみのモットーの中心は「利用者のためにはトコトン振り回されよう」という「利用者中心主義」が徹底されているようだ。その方の想いを、施設の中でも自分の家に居るように振舞えるよう、職員一同が力を合わせておられる様子に参加者一同も感心仕切りでした。



グループホームほほえみの見学：2ユニットに分かれて現在入居者18名

次は「児童クラブにしあい」を訪問。西始良・重富・始良・三船小から平日放課後60名近くの児童が利用している。「自由な時間・安心安全な空間・仲間・支援員の手間」という4つの間を大切にしながら、おやつタイム→学習タイム→自由時間と自分の家に居るようなスタイルで帰宅までの時間を過ごしているようだ。訪問時は丁度「学習タイム」で、それぞれが夏休みの宿題帳やドリル・読書と面々好きな題材に取り組んでいた。訪問者のある方曰く。「これだけの快適な環境と遊び道具と友達がいたら、誰も地域の公園等では遊ばないなァ〜」と。



ひまわり子ども園・児童クラブへ移動：子どもたちは水遊びに夢中



児童クラブ見学：夏は定員より多めに受け入れる・ひまわり子ども園・ほほえみの方々と交流